

日光観光大使の
 若きトライアルバイクライダー



トライアルバイクライダー
 くわはらよしろう
栗原佳朗さん

今月は、トライアルバイク競技で活躍し、日光観光大使を務める栗原佳朗さんを紹介します。栗原さんは広報「にっこう」1月号の表紙を飾った、日光霧降高原トライアル大会を主催しました。

現在17歳という若さで頑張る栗原さんに、トライアルバイクについて伺いました。

トライアルバイクとはどんな競技ですか？

バイクに乗って山や川を走り抜ける競技で、イギリスの紳士がやっていたことが始まりです。高低差や複雑な障害物などが設定されたコース（セクション）をいかにミスなくバイクで走り抜けるかを競うモータースポーツです。高い操作技術が求められます。

この競技を始めたきっかけは何ですか？

父が若いころにトライアルバイクに乗っていた影響もあって、7歳の頃から

らツインリンクもてぎの親子バイク教室に通い始めたことがきっかけです。そして9歳の時、本格的にトライアルを始めました。

競技の見どころ、楽しさや魅力について教えてください

見どころは、多彩な運転技術で自然を走破していく迫力ある姿を間近で観戦できることです。選手と観客の距離が近いので、一体感が味わえます。ライダーたちはみんなからの声援でパワーをもらい、難しい岩や崖を登り切ります。

また、何歳になってもできるところが魅力です。80歳以上のベテランライダーもいて、教わるのがたくさんあります。バイクのメンテナンスなども教わりながらやっています。

霧降高原トライアル大会を開催した感想を教えてください

市内はもちろん、東京・新潟・大阪・岩手などからも大勢の方に来ていただき本当に驚いています。前日の早朝から準備に集まってくれた仲間たちや、日本のトップライダーの助けもあり実施できました。何もかもが初めてで反省点も多いですが、協力してくれる皆



険しい岩を駆け上る栗原さん

さんのおかげで、みんなに楽しんでもらえた大会にできたと思っています。

今後の目標について教えてください

日光は水がおいしいことなど、全国でもっともっと日光市をPRしたいと思っています。

また、昨年はいろいろな大会の準備を行い裏方の大変さも分かったため、大会に参戦しない時にはスタッフとして頑張ります。

そして、今年も霧降で大会を開きたいと思っています。

インタビュを終えて…

霧降高原トライアル大会で、華麗なテクニクを披露し観客を魅了した栗原さん。今後の活躍を多くに期待しています。